

令和元年度 第1回 土木計画学研究委員会 議事録

日時：令和元年6月8日（土）12：10～13：15

場所：名城大学 名古屋ドーム前キャンパス DW207

議事録作成：幹事長補佐 谷口綾子

議事

1. 委員長挨拶
2. 前回委員会の議事録確認【資料1】

審議事項

3. 委員の交代について（佐々木）【資料2】
4. 研究小委員会関係について（中矢）【資料3】
5. 国際関連賞推薦内規について（佐々木）【資料4】
6. 災害調査ガイドラインの策定について（佐々木）【資料5】

報告事項

7. 学術小委員会からの報告（紀伊）【資料6】
8. 2019年春大会の実施状況について
9. 2019年秋大会の準備状況について（寺部）【資料7】
10. 2020年春大会の準備状況について（吉井）【資料8】
11. 幹事会からの報告
 - ① 研究小委員会について（中矢）【資料9】
 - ② HP関係について（吉田）【資料15】
 - ③ 国際セミナーの実施状況について（岩田）【資料10】
 - ④ ワンデイセミナーの実施状況について（石橋）【資料11】
 - ⑤ 平成30年度予算執行状況（佐々木）【資料12】
12. その他
 - ✓ ワンデイセミナー100回記念企画について（岩田）【資料13】
 - ✓ 東京オリパラTDM企画について（毛利）【資料14】
13. 閉会挨拶

【議事】

1. 委員長挨拶

藤原委員長よりあいさつがなされた。

2. 前回委員会の議事録確認

佐々木幹事長より資料1の議事録確認依頼があり、前回委員会の議事録が承認された。

[審議事項]

3. 委員の交代について

佐々木幹事長より、資料2委員名簿の確認依頼があり、委員の交代は特になかった。

4. 研究小委員会関係について

小委員会委員長吉田氏より資料3のp.1について説明があり、自転車政策研究小委員会の期間延長が承認された。なお、延長するにあたりワンデイセミナーは2回程度実施していただきたいと佐々木幹事長より依頼があった。

橋本成仁先生より、資料3のp.2-5モビリティ・ギャップ研究小委員会の新設の申請について説明があり、承認された。なお、研究メンバーは公募することが確認された。

5. 国際関連賞推薦内規について

佐々木幹事長より資料4の説明があり、承認された。藤原委員長より、**最初の一、二回は候補者がたくさんいる可能性がある**ので、秋大会等で議論の場を設け確認した方がよい、との意見があった。なお、内規については、「土木計画学委員会」→「土木計画学研究委員会等」、文言を訂正したものを正本とする。

6. 災害調査ガイドラインの策定について

佐々木幹事長より資料5の説明があった。藤原委員長より、災害調査団を作るときよりも終わる時(解散時期)が難しく、経験者がいたら教えて欲しい(広島の高雨災害も報告書を作っていないのでまだ終わっていない)との依頼があった。これを受けて、奥村副委員長より、「報告書を出さないと終わらないが、報告書がなかなか出来ないため、終わることが難しいという状況がある。調査速報会で、調査団は終わる場合もある。その場合は別の組織を作ることもある。」「その場で出来ることがどれだけあるかにもよるが、ハードな分野では復旧作業が終わる前に写真をたくさん撮るなどの作業が必要であるが、土木計画学などのソフト分野で重要なのは[こういう情報があります]というものを集めてまとめる組織を明記しておいて欲しい。集めてまとめる組織としての調査団は残っていてもよいのでは無いか。」とのコメントがあった。多々納先生より、「復興・復旧・まちづくりを見る場合などは、被災地を見に行くだけの場合と性質が異なるので、調査団が場合によって判断するのがよい」と

の意見があった。これらのご意見を受けて、フローチャートの速報会と報告会は一つのBOXに入れる、災害の状況に応じて解散時期を判断する等、ガイドライン案を修正することとなった。

報告事項

7. 学術小委員会からの報告

土井学術小委員長より資料6の説明があり、論文集 vol.36 と 37 のスケジュールが重なっている部分もあり、特に査読者の皆さんにご協力いただきたいとのことであった。

8. 2019 年春大会の実施状況について

若林春大会開催校実行委員長より、6月8日(土)11時半時点での参加者は400名であり、口頭・ポスター発表のエントリー数は286であったとの報告があった。

9. 2019 年秋大会の準備状況について

秋大会運営小委員会秋大会部会の寺部秋大会担当副委員長より資料7の説明があった。中川開催校実行委員長より、富山駅コンコースは学会期間中、仮予約をしているので何か使うアイデアがあれば積極的に提案いただきたいとのことであった。

佐々木葉副委員長より、オーガナイザーの申し込みWEB画面で「サテライト」の説明が十分に為されたのか、との質問があり、ランチョンミーティングで説明をするとともに、WEBサイトを見直すこととなった。

10. 2020 年春大会の準備状況について

橋本大会運営小委員会春大会担当副委員長より、資料8の説明があり、2020年春大会は大阪大学吹田キャンパスで開催、開催日程は6月上旬で調整中、これから秋大会までに検討を始めるとのことであった。

11. 幹事会からの報告

① 研究小委員会について

中矢幹事より、資料9の説明があり、活動状況報告の紙の資料は後日電子ファイルで配布するとのことであった。未回答の小委員会のご担当は早めに対応いただきたいとの依頼があった。また、今期で終了する委員会が4つあり、そのうち「健康まちづくり研究小委員会」の北詰副委員長より、7月末にもう一度ワンデイセミナーを開催する予定であること、また発展的な研究小委員会を検討しているとのあいさつがあった。「土木計画分野における3次元モデルの活用に関する小委員会」秀島委員長より、出版を検討しており、小委員会は終了するが活動は継続したいとのあいさつがあった。

② HP 関係について（吉田）

吉田幹事より資料15と前方スクリーンのWEB画面を用いた説明があった。土木

計画学研究ホームページのリダイレクトの作業は論文集の締め切りと重ならないように実施予定である。また、英語ホームページの一部が更新されていない、古い小委員会が入ったままになっているなど、この機会に更新予定である、とのことであった。

③ **国際セミナーの実施状況について**

岩田幹事より、資料 10 の説明が為され、国際セミナーの実施状況について報告があった。

④ **ワンデイセミナーの実施状況について**

石橋幹事より資料 11 の説明があり、100 回記念のセミナーを検討中とのことであった。

⑤ **平成 30 年度予算執行状況**

佐々木幹事長より資料 12 の説明があった。

12. その他

✓ **ワンデイセミナー100 回記念企画について**

岩田幹事より資料 13 の説明があり、未だ内容は具体化していないが、何かアイデア等あれば担当幹事までご連絡いただきたいとの依頼があった。

✓ **東京オリパラ TDM 企画について**

毛利副委員長より、資料 14 の説明があり、2020 年東京オリパラに向けて 3 学会合同で今後も企画を進めていくとのことであった。

13. 閉会挨拶

藤原委員長より、春大会で任期満了となる奥村副委員長の後任として東京海洋大学の兵藤先生、毛利副委員長の後任として中央復建の白水取締役、佐々木幹事長の後任として京都大学の藤井聡先生に内諾していただいている旨、報告があった。明日のランチョンミーティングでも交代を紹介する予定である、とのことであった。

以上